



2018年 12月 4日

各 位

会 社 名 : 株式会社三菱ケミカルホールディングス  
 代表者名 : 代表執行役社長 越智 仁  
 (コード番号 : 4188 東証第 1 部)  
 問合せ先 : 広報・IR 室長 高阪 肇  
 TEL. 03-6748-7120

### 中期経営計画「APTSIS 20」の目標値見直しについて

当社は、2015年12月9日に公表しました2016年度を初年度とする5か年の中期経営計画「APTSIS 20」において2020年度の財務指標目標値を掲げていますが、この度、以下のとおり見直すことを決定しましたのでお知らせいたします。

#### 1. 見直しの背景

当社は、「APTSIS 20」において、機能商品、素材、ヘルスケア分野の事業を通じて高成長・高収益型の企業グループをめざすという基本方針のもと、(1) ポートフォリオ・マネジメント強化による収益基盤の強化・拡大、(2) 化学系3事業会社統合による早期の統合効果実現、(3) 次世代テーマの早期事業化、(4) グローバル展開の加速、を主要施策として事業を展開してきました。

この度、2018年度までの計画の進捗を踏まえ、上記施策の加速による機能商品セグメントを中心とする成長や統合効果のさらなる発現、ケミカルズセグメントにおける市況の下振れリスク、産業ガスセグメントにおいて行ったM&A等を考慮し、最終年度である2020年度の財務指標目標値を見直すこととしました。

#### 2. 見直しの内容

2020年度の財務指標目標値を以下のとおり見直します。

(IFRS)

財務指標	2018年度予想	2020年度目標 (見直し後)	2020年度目標 (当初目標)
コア営業利益*1	3,680億円	4,100 億円	3,800億円
ROS (コア営業利益)	9%	9%	8%
親会社株主に帰属する当期利益	2,130億円	2,200 億円	1,800億円
ROE	16%	13%	12%
Net D/E レシオ	0.77 (1.2*2)	1.0	0.8

\*1 コア営業利益 : IFRS 基準に基づく営業利益から非経常的な要因により発生した損益 (非経常項目) を除いた経常的な収益

\*2 産業ガスセグメントにおいて2018年度に行ったM&Aについて公表値ベースで試算

<前提>

原油・ナフサ価格 2018~20年 プレント原油 : 70 ドル/BBL、国産基準ナフサ : 52,000 円/KL  
 為替レート 110 円/米ドル、130 円/ユーロ

(単位: 億円、IFRS)

分野別コア営業利益		2018年度予想	2020年度目標 (見直し後)	2020年度目標 (当初目標)
機能商品		875	1,200	1,250
素材	ケミカルズ	1,515	1,250	1,300
	産業ガス	615	1,000	
ヘルスケア		725	660	1,250
コーポレート他		(50)	(10)	—
合計		3,680	4,100	3,800

※ ご参考

中期経営計画「APTSIS 20」の説明資料につきましては、当社ホームページにて公開しております。

アドレス [http://www.mitsubishichem-hd.co.jp/ir/library/analysts\\_meeting.html](http://www.mitsubishichem-hd.co.jp/ir/library/analysts_meeting.html)

本資料における見通しは、現時点で入手可能な情報により当社が判断したものです。実際の業績は様々なリスク要因や不確実な要素により、業績予想と大きく異なる可能性があります。当社グループは情報電子関連製品、機能化学製品、樹脂加工品、医薬品、炭素・無機製品、産業ガス、石化製品等、非常に多岐に亘る事業を行っており、その業績は国内外の需要、為替、ナフサ・原油等の原燃料価格や調達数量、製品市況の動向、技術革新のスピード、薬価改定、製造物責任、訴訟、法規制等によって影響を受ける可能性があります。但し、業績に影響を及ぼす要素はこれらに限定されるものではありません。